

# 令和6年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立松江小学校

校長名 大須賀 慎一

名称: かがやき

学校の教育目標	かがやき～力いっぱい 笑顔いっぱい 松江の子～
---------	-------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標
<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>

学校の総合的な学習の時間の目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>体験活動や問題解決的な学習を通して、いのちの輝きに感動する児童を育てる。</li> <li>自ら課題を見付け、見通しをもって問題解決に取り組む意欲を育てる。</li> <li>「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の活動を通して言語活動の充実を図る。</li> <li>自分の考えを深めたり、追究方法を工夫したりして粘り強く取り組む態度を育てる。</li> <li>地域の一員であることを自覚して、自己の生き方を振り返ることができるようにする。</li> </ol>

育てようとする資質や能力及び態度	
知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
課題について理解し、必要な情報を収集して事象を比較したり、関連付けたりすることができる。	問題状況について理解し、事象間の因果関係を分析したり、推論したりすることができる。
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
自ら設定した課題に対して、よりよい解決方法を工夫することができる。	自ら設定した課題に対して、手段を選びながら情報を収集し適切にまとめ、表現することができる。
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
課題の解決に向けて、目的意識をもって活動することができる。	課題の解決に向けてよりよい方法を考えるなど目的意識をもって活動することができる。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の中の工夫</li> <li>ユニバーサルデザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の方々や障害のある方の知恵や生き方</li> <li>暮らしやすくする工夫</li> </ul>
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>松江小学校の過去・現在・未来</li> <li>自分の過去・現在・未来</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松江小学校の伝統や文化のもつ特徴</li> <li>松江小学校の一員として、伝統や文化を守り、受け継ごうとする活動や取組</li> <li>自分の10年の歴史</li> </ul>
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>松江小学校の環境設備</li> <li>地球環境</li> <li>グリーンプラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松江小学校の伝統や文化のもつ特徴</li> <li>身近な環境や地球環境</li> <li>環境保護のための活動や取組</li> </ul>
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の防災活動に取り組む人々</li> <li>防災、自然災害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害学習プログラムへの参加</li> <li>地域の一員として、防災活動への参加</li> <li>防災、自然災害の特徴と対策</li> </ul>

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
3年 松江の「地域」と「福祉」 4年 「松江小の昔と今」 5年 松江の「環境」 6年 松江の「防災」	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科との関連的な指導の重視</li> <li>体験活動の重視</li> <li>児童の課題意識を連続的に発展させる支援</li> <li>グループによる協同学習の重視</li> <li>言語活動による体験の意味の自覚化</li> <li>個に応じた指導の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域教育力の活用</li> <li>効果的なチーム・ティーチングの日常化</li> <li>担任以外の教職員による支援体制の確立</li> <li>教師の専門性を生かした指導</li> <li>メディアセンターとしての余裕教室の整備・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点別学習状況を把握するための評価基準の設定</li> <li>ポートフォリオを活用した評価の充実</li> <li>指導と評価の一体化の充実</li> <li>個人内評価の重視</li> <li>学期末、学年末における指導計画の評価</li> </ul>